



クリエートメディック株式会社

# 2025年12月期 連結決算報告

クリエートメディック株式会社

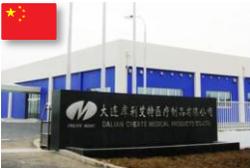
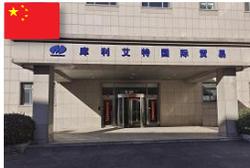
証券コード 5187



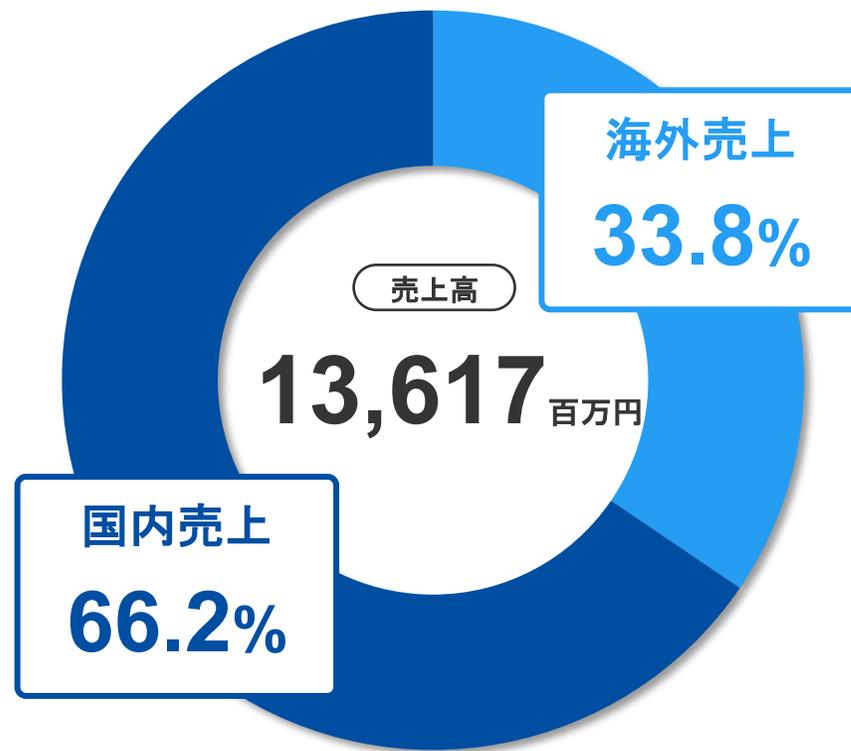
## クリエートメディックとは？

当社はカテーテルの開発・製造・販売を行うグローバル医療機器メーカー

3つの海外グループ会社を保有し、海外売上高が全体の33.8%を占める

会社名	クリエートメディック株式会社
所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番地15 新横浜センタービル8階
設立	1974年
代表取締役	今澤 修
従業員数 (連結)	1,010名 (2025年12月末時点)
グループ 会社	    <p>大連クリエート医療製品有限公司    クリエート国際貿易(大連)有限公司    ベトナムクリエートメディック有限会社    九州クリエートメディック株式会社</p>
事業内容	シリコンラバーを主な原材料とした Disposable カテーテル・チューブ及び医療機器の製造・販売

### 売上構成比 (2025年12月期)



## 泌尿器、消化器を中心に生体適合性の高いシリコンカテーテルを製造・開発

### 当社の強み



#### 100種類以上の 製品ラインナップ

- 患者様の体型に合わせた多様なサイズ・仕様
- 安定供給を実現するフレキシブルな生産体制



#### 国内外生産拠点での 徹底した品質管理

- 国内外全ての生産拠点でISO13485を認証取得
- クリーンルーム環境での製造



#### 市場ニーズに対して 機動的な製品開発

- 業界初消毒液付キット製品
  - 女性開発者によるデザイン性が特徴な製品
- など医療従事者・患者様のニーズを捉えた製品開発を機動的に実施

国内販売および輸出販売が順調に推移し、売上は前年比+4.5%の増加  
主に売上増加や原価高騰を背景にした価格改定により、営業利益は45.1%増加

単位：百万円	2024実績	2025実績	増減額	増減率
売上高	13,030	13,617	+587	+4.5%
売上原価	7,326	7,623	+297	+4.1%
売上総利益	5,704	5,993	+289	+5.1%
販売費及び一般管理費	5,011	4,988	△22	△0.5%
営業利益	692	1,005	+312	+45.1%
経常利益	750	988	+237	+31.7%
当期純利益	840	713	△127	△15.1%

## 売上

自社販売は新製品・価格改定効果により好調。海外販売は欧州が好調の一方、中国において微減となり、売上全体は+4.5%

## 販売費及び一般管理費

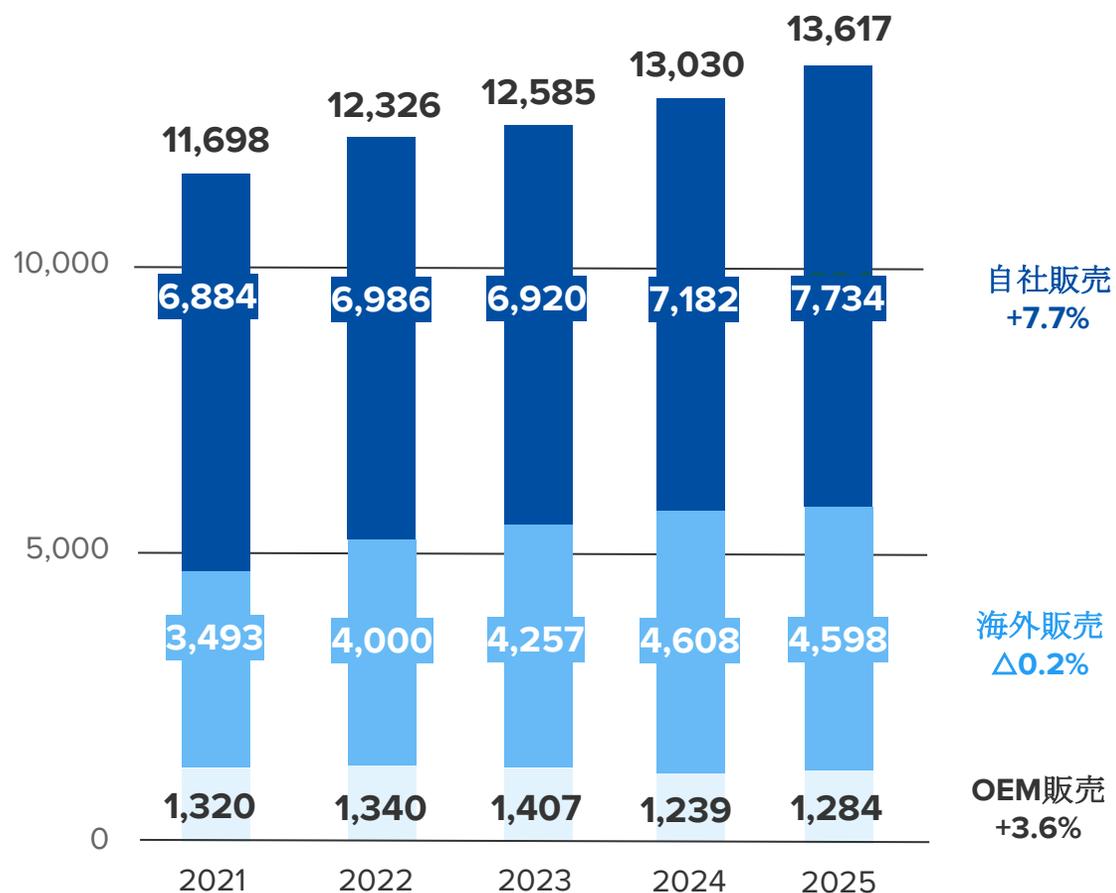
人件費は給与賞与が処遇改善により増加も、退職給付費用の減少により△4M  
経費は研究開発費が+24M※となりましたが、前期の本社移転にかかる消耗品費・減価償却費の減少により△18M  
※研究開発費 860M（前年比+24M）

## 営業外・特別損益

為替差損が円安の影響により増加  
特別利益は前期の旧本社売却益300Mが剥落したため減少

## 自社販売は新製品の好調により全体の売上进行 海外販売は欧州向け輸出が好調の一方、中国において集中購買が進み微減

(単位：百万円)



### 自社販売

自社販売が全体の売上进行を牽引  
特に既存の泌尿器系製品の好調に加えて、  
新製品が好調

### 海外販売

欧州向けはMDR(欧州医療機器規則)切替前  
の前倒しや競合先の自主回収により増加  
中国は消化器系製品の好調に対し、泌尿器  
系製品が集中購買の影響を受けて減少

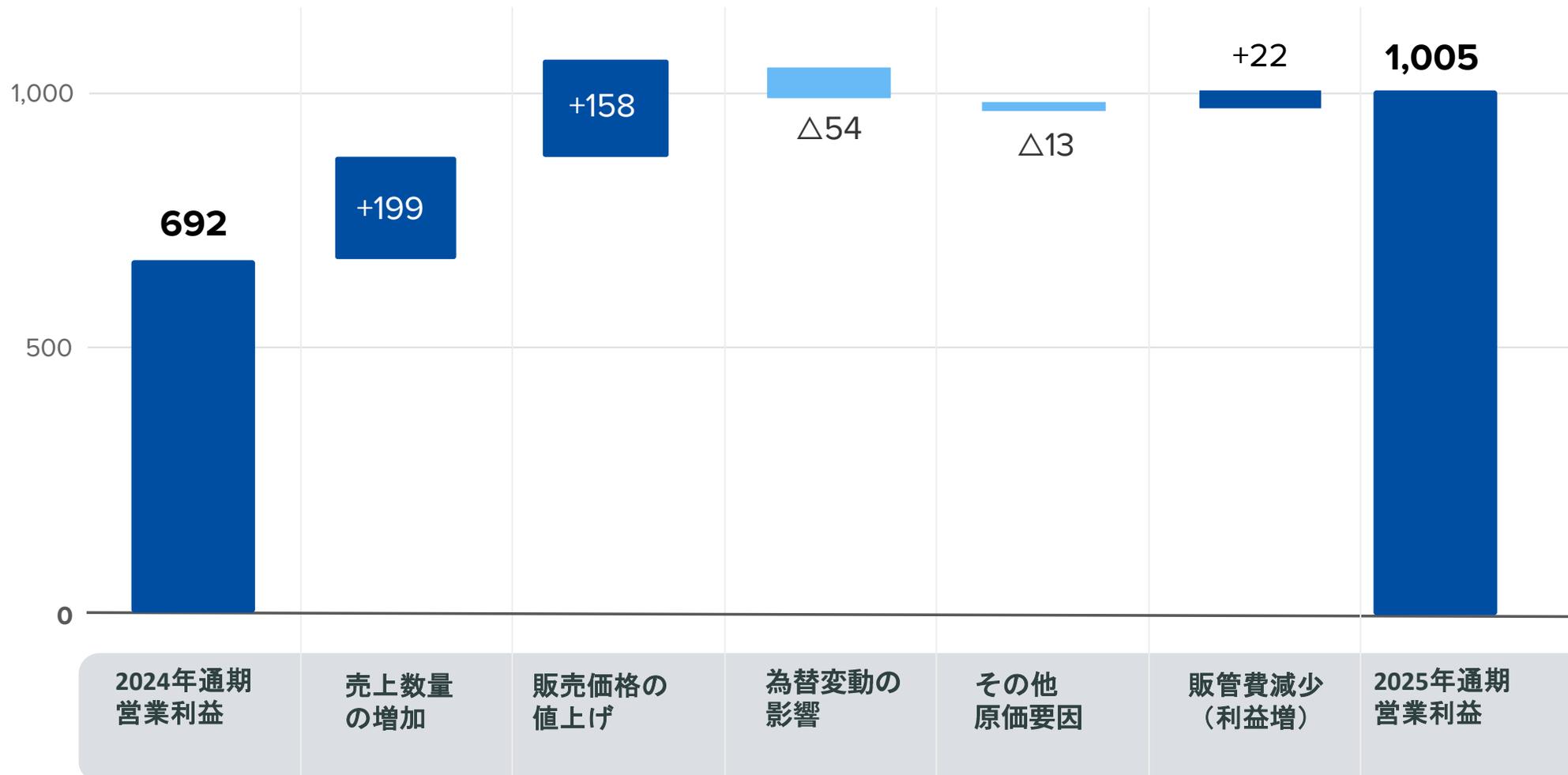
### OEM販売

血管系製品の取引終了に伴う減少に対し、  
内視鏡関連製品の好調により増加

## 2025年12月期実績 営業利益の増減分析

主に売上数量の増加と販売価格の値上げにより営業利益も順調に増加  
売上総利益率は自社販売の泌尿器系を中心とした低利益率品目の増加により  
低下したものの、海外事業は上昇し、全社では若干の上昇

(単位：百万円)



## 2025年12月期実績 B/S（貸借対照表）

横浜キャピタルの転換社債により資金調達を行う一方、借入金の返済や製品・原材料等の増加によって、資産合計は微増

単位：百万円	24.12期末	25.12期末	増減
<b>流動資産</b>	13,940	14,222	+282
現預金	6,317	5,830	△487
売掛金・電子記録債権等	3,162	3,333	+170
製品・原材料等	3,921	4,487	+566
その他流動資産	538	571	+32
<b>固定資産</b>	6,107	5,920	△187
有形固定資産	4,843	4,709	△134
無形固定資産	532	418	△113
投資その他の資産	731	792	+60
<b>資産合計</b>	20,047	20,143	+95
<b>流動負債</b>	3,105	2,023	△1,081
買掛金・電子記録債務等	783	700	△82
短期借入金	800	0	△800
その他流動負債	1,521	1,323	△198
<b>固定負債</b>	1,191	1,787	+595
転換社債型新株予約権付社債	0	749	+749
その他固定負債	1,191	1,037	△154
<b>負債合計</b>	4,296	3,810	△486
<b>純資産</b>	15,750	16,332	+581
<b>負債純資産</b>	20,047	20,143	+95

### 資産

自社販売の新製品上市に伴い製品・原材料等が増加一方、現預金および固定資産が減少し、資産合計は+95百万円と微増

### 負債

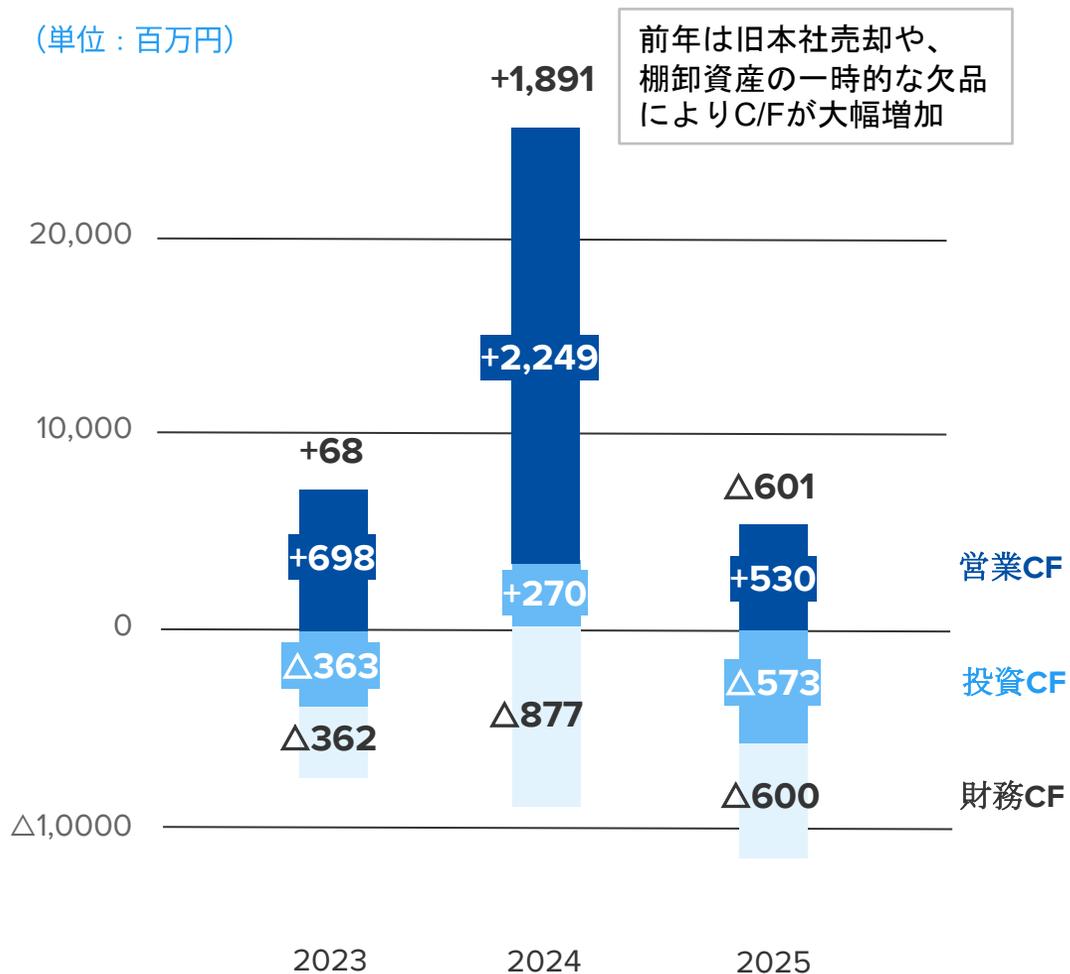
横浜キャピタルからの資金調達により転換社債型新株予約権付社債が増加したものの、借入金の返済により負債合計は△486百万円

### 純資産

自己株式取得による減少があるものの、当期純利益による利益剰余金の増加によって純資産合計は+581百万円

## 2025年12月期実績 C/F（キャッシュフロー）

当期利益の増加および転換社債により資金調達を行うものの、  
設備投資や借入金の返済、自己株式取得によって全体では△601百万円



### 営業CF

棚卸資産の増減および法人税の支払による  
減少を当期利益がカバーし+530百万円

### 投資CF

主に生産設備の設備投資による支出のため  
△573百万円

### 財務CF

横浜キャピタルからの資金調達を行う一方、  
借入金の返済・配当支払・自己株式取得に  
より△600百万円

企業理念

# からだにやさしい未来の医療を築く

10年後の  
ありたい姿

医療を通じて大きく社会に  
貢献できる企業でありたい

ブランド力と知名度の高い  
企業でありたい

従業員がやりがいをもって  
生き活きと働ける企業でありたい

10年後のありたい姿の実現

新たな事業の追求と深化

インド・東南アジア事業の強化・推進

基盤の構築、成長領域への投資

国内事業製品ポートフォリオ再構築、利益率改善、  
中国事業の拡大

フェーズⅢ

2031年~2034年

フェーズⅡ

2028年~2030年

フェーズⅠ

2025年-2027年

2025年12月期実績

営業利益 **10**億円 営業利益率 **7.4%**

2034年経営目標

営業利益 **30**億円

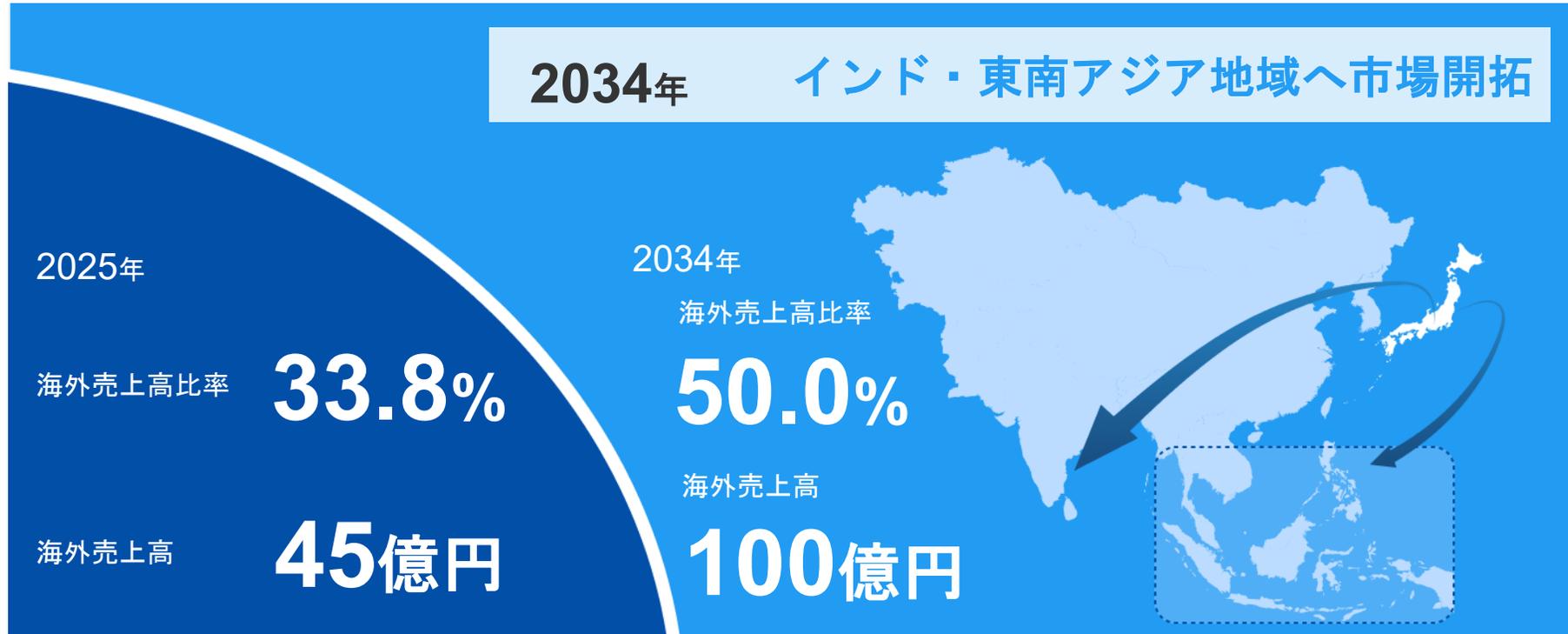
営業利益率 **15%**

2027年経営目標

営業利益 **13**億円

営業利益率 **8%**

# 国内の実績と高い品質を武器に、高齢人口増が見込まれる海外市場を開拓する



## 国内市場

- 国内市場は高齢化による安定的な伸び

## 中国市場

- 中国は医療インフラの高度化で需要増加
- 一方、国・省の集中購買制度により入札価格の抑制、競争激化

## インド・東南アジア市場

- インド・東南アジアの市場は急激な拡大
- 今後の急成長に期待

## 重点施策① 連結グループ増益確保に向けた取り組み

### 中期経営計画2027年度目標

営業利益率 **8** %

- 事業ポートフォリオの再構築
- 製品ポートフォリオの強化
  - 泌尿器分野の強化（新製品集中）
  - 不採算品目の整理
- 泌尿器系製品の採算改善、事業継続判断
- 売上増強、原価低減、販管費抑制の推進
- DX・システム化による効率化

### 2025年度（1年目）進捗

営業利益率 **7** %

- 事業ポートフォリオは組織の集約化、不採算品目の整理を実施
- 泌尿器製品のサプライチェーンの見直しによるコストダウン策の推進
- グループ会社の製造機能最適化により収益構造モデルを変化させることで長期的・安定的な生産体制を構築
- 原材料や為替による原価高騰を背景に、プライシング策を推進

## 重点施策② 海外事業の強化

### 中期経営計画2027年度目標

海外売上高 **57** 億円

- 海外事業戦略室の新設
- 中国市場の販売拡大
- インドの新市場開拓
  - 日本品質、現地ニーズに沿った開発・現地販売体制の構築
- 東南アジアの新市場開拓
  - インドネシア・タイ・マレーシア・ベトナムへ販売展開

### 2025年度（1年目）進捗

海外売上高 **45** 億円

- 海外事業戦略を高める体制強化
- インド販売体制に向けた現地法人設立準備、業務提携の締結、今後、ライセンス追加とエリア拡大により販売製品を拡大する
- 東南アジアは、タイ・ベトナム・マレーシアの浸透に向けた市場調査、今後の代理店開拓により新市場開拓を進める

重点施策③ 新規事業の立ち上げ

中期経営計画2027年度目標

M&Aアライアンスの推進 **2** 件

- 新規事業開発部の新設
- 新規事業の探索 デジタルヘルス
- 体外診断薬
- 介護事業
- M&A・アライアンスの推進

2025年度（1年目）進捗

- 泌尿器・消化器における基盤事業強化に向けたアライアンスの推進
- 新たなヘルスケア領域の探索、M&Aに向けた検討
- その他、新規事業としてアグリの事業の探索

売上は前年比+2.5%の13,960百万円、営業利益は+5.5%の1,060百万円を計画

単位：百万円	2025実績	2026計画	増減額	増減率
売上高	13,617	13,960	+342	+2.5%
売上原価	7,623	7,747	+124	+1.6%
売上総利益	5,993	6,212	+218	+3.6%
販売費及び一般管理費	4,988	5,152	+163	+3.3%
営業利益	1,005	1,060	+54	+5.5%
経常利益	988	1,070	+81	+8.3%
当期純利益	713	750	+36	+5.1%

<p>自社販売</p>	<p>新製品3品目の発売を予定しており、従来品の拡販とあわせて販売を強化する計画</p>
<p>海外販売</p>	<p>輸出販売は欧州のMDR(欧州医療機器規則)の切替が進み堅調な推移と予測 一方、中国販売は集中購買が国家レベルに拡大し、今後の対策を進める インドは販売会社による営業活動を開始</p>
<p>OEM販売</p>	<p>2024年発売の新製品が好調を維持するため伸長する見込み</p>

国内販売を中心とした販売数量増加と販売価格の値上げなどを推進  
製造機能の最適化、価格戦略の見直し、徹底したコストダウンを実施  
海外はインド・東南アジア市場への展開により、収益基盤を強化

(単位：百万円)



## 資本コストや株価を意識した経営

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて 業績向上に加え、株主還元およびIR活動の充実を図る

### 経営指標

重点施策	2025実績	2027目標
営業利益率	7.4%	8.0%
ROE	4.4%	7.0%
資本コスト	5.4%	—
PBR	0.53倍	0.70倍

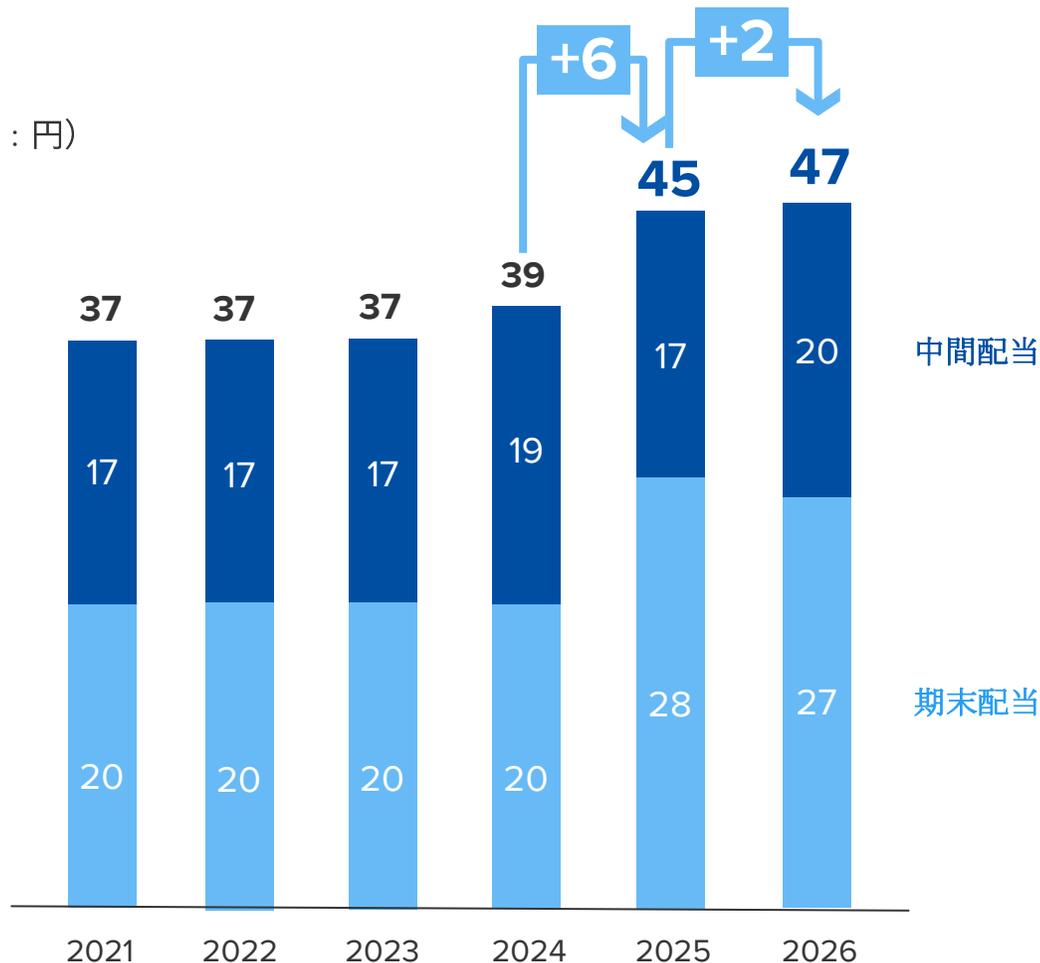
### PBR1倍に向けた対応

重点施策	進捗	今後の取り組み
中期経営計画の達成	中期経営企画の推進	将来構想、新経営体制を基に新中期経営計画の追求
売上高純利益率の改善	自社販売の販売価格改定 事業所集約による維持費用の削減	販売価格の改定 原価低減・販管費の抑制
総資産回転率の改善	本社事業所の売却	事業ポートフォリオの再構築 資産効率化、資金の有効活用
企業価値の向上	株主還元として自社株 買い2億円の実施	配当性向50%の維持 IR・情報開示の推進

## 2026年12月期 株主還元方針の改定

今後はさらなる株主還元の充実として、**連結配当性向50.0%を目安**としつつ、資本政策の指標として中長期的に純資産配当率（DOE）を4%まで引き上げていくことを目指してまいります。また、将来の資本効率性の改善および企業価値向上に向けて**自己株式の取得などの諸施策も機動的に実施**してまいります。

(単位：円)



配当方針

連結配当性向 **50.0** %

2026年度  
配当計画

配当予定 **47** 円 (増配2円)

自己株式取得  
の方針

長期的な視点では、将来の資本効率性の改善および企業価値向上に向けて自己株式の取得などの諸施策も機動的に実施



### 将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、現時点の見通しに基づくものであり、  
予期せぬ事象や経営環境の変化により実際と異なる可能性があります